

利益相反審査委員会議事録

1. 日 時 令和7年2月18日（火）16:30～16:40
2. 場 所 外来棟3F カンファレンス室
3. 出席者 委員長 中村副院長
委 員 内藤事務部長、三井薬剤科長
外部委員 湯本委員、鈴木委員
事務局 成瀬庶務班長（書記）

4. 審議内容

1) 議題

「Aspergillus. fumigatus」感染発作喘息/COPD 患者における全国実態調査とアスペルギルスアレルギーによる免疫療法の有用性の検討」

*研究者 大場 久乃 呼吸器・アレルギー科より「研究利益相反（COI）報告書」について説明

- ・すでに相模原病院研究で証明した Aspergillus. fumigatus（以下アスペルギルス）感作喘息患者の急増を全国レベルで実証するため、北海道から沖縄までの31施設における成人喘息およびCOPD患者のアスペルギルスを含めた環境アレルギーに対する特異的IgE検査の結果を集積し、実態を把握する。
- ・本研究は、EBM・ネットワーク 機構の臨床研究である。
- ・経験の多い相模原病院で行う。
- ・アスペルギルス感作喘息が成人喘息の3割ぐらいある。
- ・現状のデータベースを作る研究。

*委員からの意見等

- ・血液検査をする際の、ICは行っているのか。
→背景を確認するので、その際実施している。
- ・外部活動、企業・団体からの収入等は、報告書のとおり該当なしでよろしいか。
→該当ない。利益相反はない。
- ・32施設共同研究。
- ・一般臨床で行う検査を実施することで足りる。
- ・患者に特別に新たにすることはない。

*判定

上記研究の利益相反について審査を行った結果、当委員会として承認する。

以 上